

様式第1号(第5条の2関係)

令和2年1月2日

弘前市長様

住所 弘前市上白銀町1番地1  
氏名 弘前太郎  
生年月日 令和2年1月1日  
連絡先 000-0000-0000

令和2年度弘前市感染拡大防止滞在費補助事業利用申込書

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から宿泊施設を利用したいので、以下のとおり申し込みます。

1 利用を希望する理由 (接触した方との関係、接触した状況の記載もお願いします)

同居者が11月2日に濃厚接触者と認定され、検査を受けることが決定したが、結果が出るまで感染を拡大させないために自主的に隔離したい。

2 接触した方の検査結果通知予定日 令和2年1月6日

3 利用予定期間 (14日以内) 令和2年1月2日～令和2年1月8日

備考

- 利用申込者の運転免許証等本人を確認できる書類のコピーを添付してください。
- 接触した方が陽性の場合に保健所から利用申込者に通知がなされた場合又は接触した方が陰性と判明した場合等は、宿泊施設を退所していただくことがあります。

誓約書

- 上記の記載内容に虚偽があったことが判明した場合、又は報告すべき事項を報告しなかったことが判明した場合、その他不正な手段をもってこの事業を利用した場合には、直ちに利用を打ち切り、既に利用した分の宿泊費を宿泊施設に支払い、異議は一切申し立てません。
- 私は、新型コロナウイルス感染症感染者、感染者との濃厚接触者又は新型コロナウイルスに係るPCR検査等を受けている、若しくは受ける予定のある者ではありません。

令和2年1月2日 氏名 弘前太郎

※市記入

市確認欄	月 日／新型コロナウイルス感染症対策室
------	---------------------

※宿泊施設記入

宿泊施設名	
-------	--

担当及び提出先：観光部 観光課

電話：0172-35-1128

## 利用対象

感染者等（保健所からの指示により、感染者との濃厚接触者とされた方やPCR検査等の検査待ち・検査中・検査結果待ちの方）と接触がありながら自らは濃厚接触者に該当しないものの、自身からの感染及び感染拡大防止を目的として自主的に隔離を希望する者。

### ➤ 濃厚接触者とは

感染が確定した患者（無症状の感染者を含みます。以下「患者」）と、感染可能期間（※1）に接触した人のうち、下記に該当する人は感染する可能性が高く「濃厚接触者」と呼ばれます。

※1 陽性が確定した検査日の2日前から、入院・自宅待機開始までの期間

- 「患者」と同居、あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- 適切な感染防護なしに「患者」を診察、看護もしくは介護していた者
- 「患者」の気道分泌液（鼻水や喀痰等）、もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- 手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、マスク着用や手指消毒などの必要な感染予防策なしで、「患者」と15分以上の接触があった者
- 周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断されます

※国立感染症研究所 感染症疫学センター「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領（令和2年5月29日版）」より抜粋